

旧杉並中継所の 跡地活用に関する

意見交換会

Report No.1

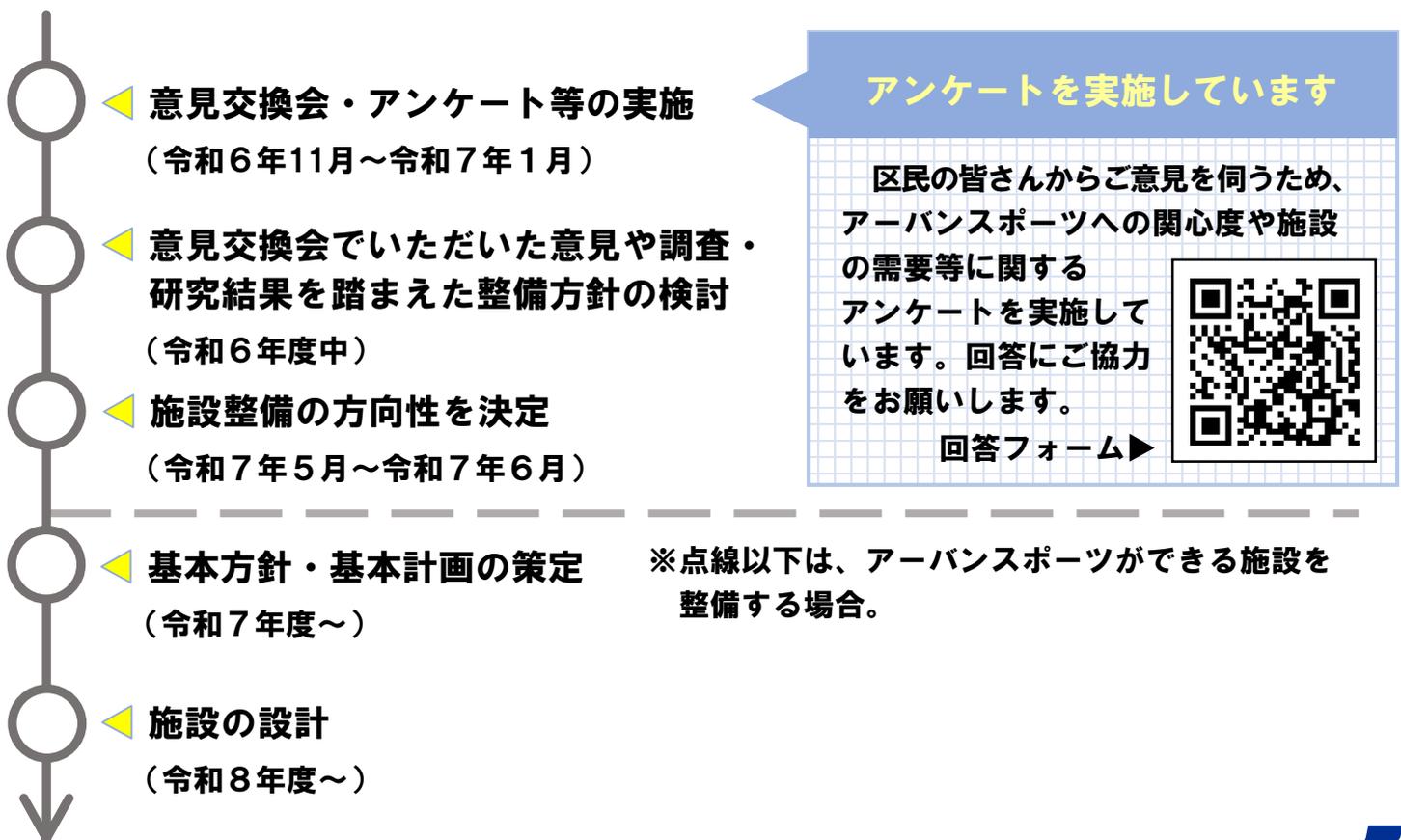
旧杉並中継所（井草4-15-18）は、災害時には防災拠点として活用することとしています。平時の活用方法については「杉並区区立施設マネジメント計画」に基づき、令和7年度までに決定することとしています。

これまでの検討を踏まえ、区ではアーバンスポーツ（スケートボードやBMX等）などができる施設として改修・活用することを候補の一つとして考えていますが、施設整備を希望する方や不安をお持ちの方などの様々な意見を伺いながら、施設整備の実現性について皆さんと共に考えるため、意見交換会を開催しています。

今回は全3回のうち、令和6年11月17日（日）に開催した、第1回の様子をお伝えします。

取組の流れ（予定）

意見交換会を含む跡地活用の検討に関する取組は、以下の流れで進めることを想定しています。令和6年度中は意見交換会・アンケート等の実施のほか、施設の調査・研究を実施しています。



第1回意見交換会の様子をお伝えします

第1回の意見交換会には、施設の近隣にお住まいの方を中心に、アーバンスポーツの経験がある方、無い方など30名の方にご参加いただきました。また、当日は多くのお子様にもご参加いただき、様々な世代が集まる会となりました。

意見交換会の前半は、区のこれまでの検討経過やアーバンスポーツを取り巻く環境等について説明し、跡地活用を検討するための土台づくりを行いました。後半は、施設整備に伴う影響や課題、その解決策等について意見を出していただく時間としました。

理解を深めよう！

●旧杉並中継所の跡地活用の検討経過

旧杉並中継所の概要やこれまで区が行ってきた跡地活用の検討経過（アーバンスポーツができる施設が跡地活用の候補になった理由等）を説明しました。

また、平時活用の前提として、防災拠点の機能に支障をきたさない範囲で活用することや地域の皆さんの声を聞きながら公共性や住環境への影響等を踏まえて検討することなどをお示ししました。



旧杉並中継所の概要は4面をご覧ください

●アーバンスポーツを取り巻く環境等

平時の活用方法の検討に当たり、区においてはアーバンスポーツ施設の整備実績が無いことから、他自治体における実績や専門的な知見を有している事業者（NPO法人 日本スケートパーク協会。以下「事業者」という）の支援をいただきながら検討を進めています。

当日は、事業者からアーバンスポーツの概要やアーバンスポーツを取り巻く環境等の変化、他自治体の取組事例等をご紹介いただきました。



Skate Board



BMX



In-line Skates

more

跡地活用についての検討を進めるに当たり、説明を聞いて感じたことを共有する時間や疑問点（モヤモヤしたこと）を解消する時間を設けました。

なぜ平时に施設を活用する必要があるのか、その理由を教えてください。

近所に跡地活用の取組を知らない人もいたので、地域の人たちにこの取組をもっと知らせてほしい。

話し合おう！

●アーバンスポーツができる施設ができた場合の影響や整備における課題

アーバンスポーツができる施設を整備することによって、区や地域に与える影響（嬉しい影響・心配な影響）、課題について意見を出し合いました。ご一緒に参加いただいたお子様からもたくさんの意見をいただきました。



≪主な意見

- 子どもたちの遊び場・居場所が増える（雨や夏の暑い日でも遊べる）。
- 子どもから大人まで（老若男女）世代を超えた交流や健康増進が期待できる。
- 施設ができることにより、地元の商店街や店舗等に来客が増え、地域の活性化につながる。
- 騒音被害が出ないか心配。
- ごみのポイ捨てや路上喫煙が増えないか心配。
- 利用者にマナーを守ってもらえるようにすることが課題だと思う。

●課題に対する解決策

施設を整備することによる課題について、どのようにすれば解決できるのか意見を出し合いました。また、跡地活用に関する提案もいただき、アーバンスポーツができる施設以外の活用方法についてもご意見をいただきました。

≪主な意見

■課題の解決策

- 利用者を登録制にし、マナー講習の受講を必須にすれば、利用マナーが守られるのではないかな。
- 地下の屋内施設なので騒音の問題はないと思うが、数値で示せば安心してもらえるのではないかな。
- 施設外での滑走について井草森公園内や駅などに看板を設置するなど、継続的に注意喚起を行う必要がある。
- 夜遅くまで施設を開けないなど、営業時間を工夫すると良いと思う。

■跡地活用に関する提案

- ボルダリングやパルクールは音が出ないのでスケートボード以外のアーバンスポーツの観点からも検討してほしい。
- アーバンスポーツだけでなく、他のスポーツができるエリアや交流スペースも設けるなど、幅広い年代に受け入れられる施設にしてほしい。
- 活用用途によって年齢制限を設ける、時間帯を区切るなど施設の使い方を工夫してほしい。

旧杉並中継所の概要

旧杉並中継所は、小型プレス車で収集した不燃ごみを最終処分場へ運搬するための中継施設でした。平成12年度に東京都から施設が移管されましたが、不燃ごみが減少したことなどから、平成21年3月末に廃止しました。

都から移管されたときの条件で、20年間は清掃事業以外の用途で活用することができませんでしたが、現在は他の用途でも活用できるようになりました。



意見交換会の終了後、希望する参加者と一緒に普段は入ることができない施設の中を見学しました。

主なエリア

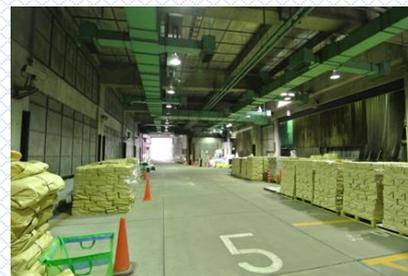


◀ 車路・昇降設備室

災害時にがれきなどの障害物を除去するための車両を、平時から保管する場所として活用しています。

地下1階 ホッパーステージ ▶

災害時に地域内輸送拠点として活用するので、防災機能に支障をきたさない範囲（設備を作りこまない）で平時の活用を検討します。



◀ 地下2階 機械室

平時活用占用エリアとなっており、設備の作りこみが可能です。撤去できない柱などがあり、活用方法が限られてくることを想定しています。

CHECK !

意見交換会当日の配布資料のほか、これまでの検討経過について、区ホームページ（右2次元コード）に掲載しています。

こちらもぜひご覧ください。



■問い合わせ

杉並区 政策経営部 企画課

施設マネジメント担当

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎03-5307-0822